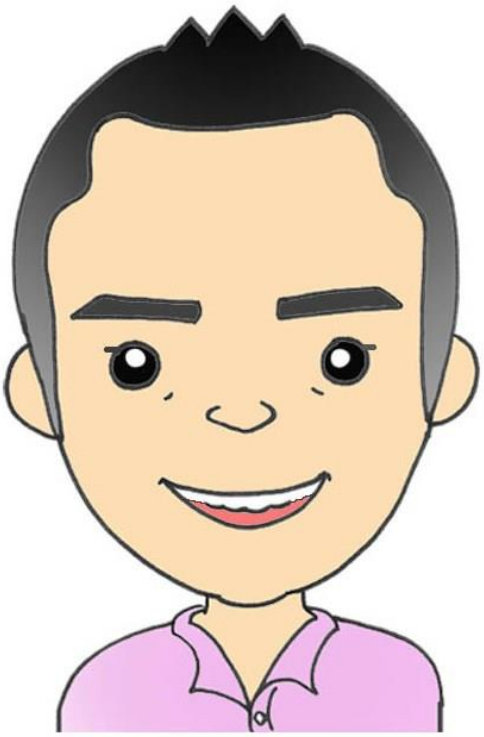
小柳はやと通信

平成２６年度　秋号

新米の美味しい季節となり、山々の木々も紅葉に向け徐々に色づき、本格的な秋模様ですね。議会は、９月22日で９月議会がおわり、私は４年間の議会活動を無事終えることができました。これも皆様方からのご支援ご協力よります。心より御礼申し上げます。

さて、私は、三回目の議会活動にむけて挑戦します。これまでの四年間は、東日本大震災を教訓とした防災減災対策、北陸新幹線開通関連、庁舎建設など大規模事業、中学校再編などに取り組んで来ました。その中でも、特に合併特例債や電源立地交付金を活用した基金設立や買物難民と言われるような身近な生活支援について数々の提言を行い具現化することができたと思います。次の挑戦にむけ、皆様からの声を届け、将来性の高い施策について取り組んで参りますので、是非ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



現在特に取組み中の諸課題

・学童保育　市内均一のサービスとなるように、特に指導者確保については、人員確保や報酬体系など市が責任を持ち取り組むように提言しています。

・観光振興　新幹線開通後のキャンペーンと共に、黒部峡谷・宇奈月温泉が魅力あるオンリーワンの観光地となるよう地域一体感の醸成に取り組んでいます。

・公共交通　地鉄電車とマイカーを基軸とした交通網発展を基本とした、利便性の向上と交通網の維持補修を含めた経済性のバランスが今後は重要です。

・高齢者生きがい　移動販売などの買い物支援、公共交通を活用した生活範囲の拡大など、日頃から外出できる笑顔や会話が溢れる生活支援策について取り組んでいます。

・学校再編　中学校再編に向けて、校区の見直しや通学方法など生徒目線にたった学校生活基盤整備や、学業・部活動における選択肢の拡大を提言しています。

・事業見直し　人口減少時代、人口動態の変化が激しいです。道路整備や下水道整備など時代の現況と将来見込みに適合させる変化が必要です。